

これまでも、大きな「クモの巣」を張って、よく目立つ「クモ」を取り上げてきました。

6月頃に成長した大きな姿を見せ始め、初夏に成熟する「コガネグモ」、
8月頃に成長した大きな姿を見せ始め、晩秋まで活動する「ナガコガネグモ」、
9月頃に成長した大きな姿を見せ始め、晩秋まで活動する「ジョロウグモ」などです。

いずれの種も雌は体長が20mm以上にもなる大型種です。

(雄は、いずれの種も体長10mm程度かそれよりも小さいです...)

【コガネグモ】

「120606 梱包の達人「黄金蜘蛛」」

<http://www.pref.osaka.jp/attach/15501/00099022/120605konnpou.pdf>

【ジョロウグモ】

「121003 ジョロウグモ」

<http://www.pref.osaka.jp/attach/15501/00099022/121003kumo.pdf>

「121120 ジョロウグモの産卵」

<http://www.pref.osaka.jp/attach/15501/00099022/121120jyoro.pdf>

さて、今回の主役は「ナガコガネグモ」です。

コガネグモの仲間ですが、コガネグモに比べて体が細長いことが命名の理由でしょう。

人家周辺から山麓部まで、その生息範囲は広く、明るい草原や水田などでよく見ることができる種です。

網を触ったりして刺激すると、網を強くゆらして敵を驚かす、という行動をとりますね。

産卵は、大きな「卵のう」の中に行うのですが、その大きさは20mm以上にもなり、洋ナシのような、壺のような形状です。

そして、その「卵のう」を作っているところを偶然観察することができたのです！

- | | | | |
|----|---|--------------------|------------|
| 写真 | : | 草原で網を張る「ナガコガネグモ」の雌 | 【撮影：8月上旬】 |
| 写真 | : | 獲物(バッタ)を捕食する雌 | 【撮影：9月中旬】 |
| 写真 | ・ | 卵のうを作っている雌 | 【撮影：10月上旬】 |
| 写真 | ・ | 卵のう内に産卵を終えた雌 | 【撮影：11月上旬】 |
| 写真 | : | 冬を越した卵のう | 【撮影：3月上旬】 |

「卵のう」の中には、800個以上の卵が入っているようで、秋の内に“ふ化”、そして越冬した幼虫は、翌年の6月頃に「卵のう」から出てくるようです。













